

リモート検査工事撮影事項

	工 種	撮影内容・方法
取 付 ・ 撤 去	現地確認	当該地を確認できる「街区表示板(住所表示板)」などを撮影する。
	サドル付分水栓取付工	・サドル分水栓取付け後の状況を撮影する。
		・ゴムバンドの取付けがある場合は、取り付けた状況が確認できるよう同時に撮影する。
	分岐せん孔状況	・配水小管が内面エポキシ粉体塗装管の場合は、施工前に専用のドリルを目印線が見えるように撮影する。
		・分岐せん孔状況(せん孔、排水)を撮影する。
		・コア挿入状況を挿入前から挿入後まで撮影する。
	配管状況	・サドル分水栓用ソケットから第一仕切弁までの配管作業と接合作業を撮影する。なお、ソケット、エルボなど継手を使用する場合は、その接合作業も撮影する。
		・仕切弁や仕切弁きょう等を設置した場合は、状況が分かるように撮影する。
	撤去工	・既設のサドル分水栓用ソケット、又はシモクの取外しから、キャップ又はプラグの取付作業を撮影する。
		・ゴムバンドの取付けがある場合は同時に撮影する。
主任技術者	・給水装置工事主任技術者の立会いのもとで、取付け・撤去作業を実施していることが確認できるよう、本人の顔等が明確にわかるように撮影する。	
防食シート工	・ポリエチレンシート被覆から、絶縁テープの取付、分岐番号標の取付までを撮影する。	
	・撤去作業後のサドル分水栓については、ポリエチレンシート被覆から絶縁テープの取付まで撮影する。	
残留塩素測定状況	・残留塩素の測定状況と、測定結果が分かるように撮影する。	
	・旧工業用水道管、下水再生水管又は井戸等導水管併設路線については、対照水との対比についても撮影する。	
耐圧試験状況	・耐圧試験の状況と、試験水圧値0.75MPaを加圧したままの状態を1分間撮影する。	

	工 種	撮影内容・方法	
完 成 検 査	メ ー タ 設 置 状 況	メータボックス	メータボックスを閉めた状態を撮影する。
		メータボックス内	仕切弁、メータ、識別票が収まるよう撮影する。
		メータ取付状況	メータ番号が判別可能な程度まで近接して撮影する。
		通信機器	設置状況が分かるよう撮影する。(大口径の場合は、通信機器がメータ室内上部にマグネットフック等で設置されている状況を撮影する)
		識別票	記載した水道番号が判別可能な程度まで近接して撮影する。
	通 水 確 認	給 水 用 具	メータの最も近くに設置した給水用具から吐水し、メータパイロットが認識可能な程度に近接して10～20秒程度撮影する。
			メータ上流側から、設置した給水用具を撮影する。
			認証マークが貼り付けられている給水用具は、認証マークが判別できる程度に近接して撮影する。